

# Saka-yell

\*暮らし、栄える、好きになる\*

=創刊号=



【自家焙煎 よつば珈琲】

## 癒しの珈琲と木のぬくもり。 優しさ溢れるとっておきの場所

2017年6月。直方市にひとつの珈琲店がオープンした。『自家焙煎 よつば珈琲』のオーナー、岡村信次さんは今年で四十二歳。十五年のサラリーマン生活を経て、三十五歳のときに転職を迎える。もともとコーヒーが好きだったことと、とにかく人が好きで、人の喜ぶ顔が見たいという思いからこのコーヒー業界へと飛び込んだのだ。その熱い思いが形となった新店舗に一歩足を踏み入れると、そこには豊かなコーヒーの香りと、オーナーの爽やかな笑顔があふれていた――

**サンチェ(以下:サ)**「まずはオープンおめでとうございます」

**岡村さん(以下:岡村)**「ありがとうございます」  
サ「いい感じですね。すごく温かみを感じるというか。素敵なお店ですね」

**岡村**「本当ですか？良かったです。やっぱりお客様に来ていただくからにはゆつくりコーヒーを味わってほしいし、少しでもリラックスメンでもらえる空間をと思ひまして。もともとの笑顔が好きで『周りを癒したい』って気持ち強いもんで……」

**サ**「まさに癒しの空間ですね！では、早速コーヒーについてですが、岡村さんの『こっぴけは！』というこだわりをお聞きしたいのですが――」



「夢の途中」と口にして照れる岡村さん。彼の人柄もまた、『よつば珈琲』の魅力のひとつ。

**岡村**「そうですね。まずは何よりコーヒーの鮮度ですね。いつでも新鮮な豆をすぐに提供できるように、量を制限して焙煎しています。古い豆は一切置いていません。あとはハンドドリップで一杯ずつ丁寧に入れることですかね」

**サ**「なるほど。愛情をこめてやってヤツですね！」

**岡村**「そうですね、その通り(笑) 愛情たっぷりです」

**愛する地元のために  
僕はまだ夢の途中**

**サ**「オープンにあたり、何か想い入れのものがありましたか？」

**岡村**「いやあく実は僕、まだ夢の途中なんですよ」

**サ**「夢の途中！なかなかいい言葉が出てきましたね！」

**岡村**「なんか恥ずかしくなってきました(笑) 僕大丈夫ですかね(笑)」

**サ**「大丈夫ですよ(笑) 続けてください」

**岡村**「えっとですね、実は僕、ゆくゆくは『焙煎屋さん』がしたいんです」



子供の目線から見えるよう、大きな窓を設置した焙煎室。見たことない焙煎の様子に、つい夢中になってしまう

サ「焙煎屋さん、というところ？」

岡村「うーん、わかりやすく言うと『セルフ焙煎ショップ』って感じですかね。お客さん自身に、豆を焙煎してもらいたいんですよ。コーヒーは、焙煎の仕方です全然味が変わってきますし、自分に合うコーヒーってなかなか見つけれなかったりするんですよ。それなら自分で自分の味を作っちゃおうよ。だけど、なかなか自分で焙煎なんて出来ないじゃないですか？だから、それができる場所を提供することで、もっとたくさんの人にコーヒーの楽しさや、奥深さというものを知って頂きたいな」と

サ「確かに焙煎屋さんなんてあまり聞かないですもんね」

岡村「そうでしょう。それで、そういった場所を広げていって、自分が生まれ育ったこの筑豊という地域を盛り上げるために、自分の好きなコーヒーで役に立てたらなと思っています」

サ「素晴らしいですね」

岡村「ありがとうございます。あ、だからこだわりのひとつとしてオープンキッチンにして、焙煎している様子が子供目線からも見やすいように、焙煎機のところの窓を低く大きくとっているんです。たくさんの子供に

←店内には複数の店舗によるかわいい焼き菓子が委託販売されている。こちらも美味！

↓コーヒーのメニューは10種類以上。ニュークropp(新豆)の入荷によって随時新メニューが加わる



「こんな仕事もあるんだよ」ってことを知って欲しくて」

サ「なるほど」。確かにあの窓は子どもも見やすいですし、ああいう機械が動いているのってつ

いつい見ちゃいますもんね」

岡村「いずれば店内で『焙煎を楽しむ会』なんかも開催したいなと思ってます。コーヒーを飲んで、ゆっくりして、そしてコーヒーそのものをしっかり楽しんでいただけるようなお店にしていきたいですね」

サ「たのしみですね。応援しています！では最後に一言、読者の方へのメッセージをお願いします」

岡村「はい！これからも、どんどん美味しいコーヒーと癒しの空間に磨きをかけていくので、どうぞ皆さん直方にお越しの際には気軽に立ち寄ってください。お待ちしております」



「夢を語る岡村さんは、少し照れながら。けれどその瞳をまるで少年のように輝かせていた。この筑豊の地が、岡村さんの願う「みんなが笑顔で栄える地域」になるように。今日もおいしいコーヒーを入れて『よつば珈琲』はあなたの来店を待っている。ひと時の癒しを求めて、ぜひ岡村さんに会いに行つてはどうだろうか？きつと、最高の笑顔と絶品の珈琲で、あなたを心身ともにリフレッシュさせてくれるに違いない」

文・撮影・サンチェ



独創的な外観はまるでプラネタリウム ↓



サカエ住宅事務所を出発して二十分ほどの場所で、静かな山間の住宅街にぽかんと現れたドーム型の建物、外壁が真っ白だったなら、雪国のかまぐらを思い起こすような感じ



今号のお店

よつば珈琲

住所 福岡県直方市頓野 375-1  
結い村内 えこわいず 2F

営業時間 10:00~18:00

電話 080-5240-9684

H P

<http://yotsuba-coffee.net/>

Facebook

<https://www.facebook.com/285136354880919/>

よつば珈琲さんのお店に入って最初に感じたのは、何と言ってもその店内の明るさとお店全体に漂うコーヒーのいい香り。天窓から降り注ぐ太陽の光がとても優しくて印象的でした。

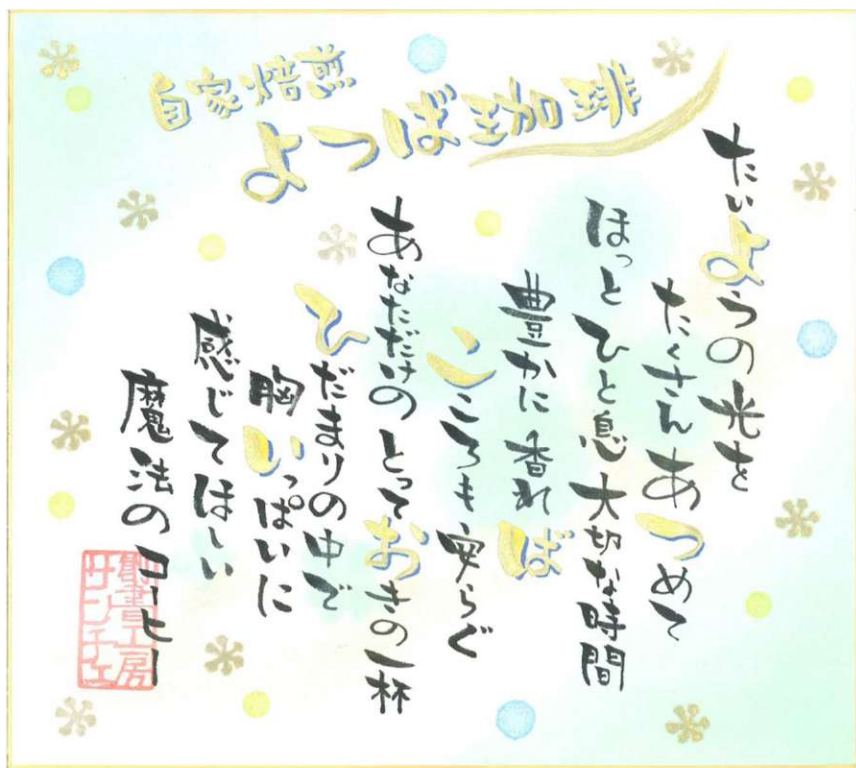


今回はその『太陽の光』と『コーヒーの香り』、また岡村さんのこだわりでもある『癒し』をテーマに、岡村さんが目標とする「焙煎屋さん」にも着目し、まさに『自分だけの味』を彷彿とさせるポエムに仕上げました。

### ネームインポエムのお問い合わせ

<http://www.facebook.com/kobosanche>  
ko-bosanche-526@docomo.ne.jp

または下のQRコードからお願いします。



ネームインポエム作家兼フリーライター。主婦業・育児業の傍ら、隙をみては自分のやりたいことに没頭する自由人。京築・筑豊地区を中心に各イベント等に出店、即興でのネームインポエムを作成・販売。全国オーダー販売対応。筆文字デザイン等にも対応可。また飯塚市の社会人野球チーム「ブラッドモンキーズ」のライターとしてウェブ上にてコラムや動画も配信中。地元の行橋市では、子育てイベント「mama☆wara【ママ笑】」の実行委員や、婚活イベント「アオハル」の主催も務める。



創書工房サンチェ



↑ 全体的に木のぬくもりが感じられる店内  
↓ 広くとったキッズスペース



← 天井にいくつもあった天窓  
光が降り注ぎます！



中に入ると、多分正三角形のパネルで積み上げられた構造のようです。「ちなみに足場を組んで廻りの壁を組み、その上にあらかじめ作っておいた、トップライトのパネルやフラットのパネルを下から順に組み上げられたようです」一見細くひ弱そうに見えますが、どうして理にかなったなかなかのものです。「バックミンスター・フラー建築家の構造システムです」三角形は、ピラミッドパワーやバミューダトライアングル、宇宙を想像させるような神秘的な形です。フラーの著作による『宇宙船地球号』は有名です。

二階に上がると私の大好きな杉材の床板、お店の方はあまり飾らず、オーナーにぴったりのようでした。

看板の文字が、もう少しゆるい感じだとお店に似合っってよいのにな〜と。

文：伊藤(サカエ住宅)



飯塚市を中心に活動する社会人野球チーム  
「ブラッドモンキーズ(略してブラモン)」

野球の域にハマらない、なんでもやっちゃう  
目立ちたがり屋集団!?

たま〜に、飯塚市の本町商店街で勝手に清掃活動をしています!  
運が良ければ、雑巾がけレースで遊んでいる  
トレーニングしている選手が見れるかも??



BLOOD MONKEYS 試合日程

**ブラッドモンキーズ**  
野球しようぜ!! 代表/森 智之

オフィシャル HP

↑こちらのHPから確認が取れるよ!  
是非、ブラモンを応援しにきてね!

サカ工住宅的・快適生活



かやの森ヒルズモデル  
【Castle Wall】

Lixil のスーパーウォール製法で建てられた高気密高断熱の家。夏でも冬でも快適に生活出来ます。

住まいのご用命は⇒



とになるのは他ならぬ貴方なので。不安なことが有ったらどんでん聞いてください。その家にずっと住むこと

今号のテーマは「建売住宅」いわゆる家が出来上がった状態で土地ごと売られている住宅の事です。利点は「完成しているので直ぐに住める」「購入価格がはつきりしている」などでしょうか。逆に考えると購入者の希望をすべて叶えることは難しくなっています。建売住宅を購入する際は「必ず何らかの運び、実物を見る」「自分の中で妥協出来る点と出来ない点をはつきりさせておく」ことでしょうか? 不安なことが有ったらどんでん聞いてください。その家にずっと住むこと

家を建てたい、家をリフォームしたい…。住まいの希望と悩みは尽きません。そんな悩みを答えるショートコラム『サカ工住宅的・快適生活』を毎月掲載させていただきます。

かやの森ヒルズモデル  
【Iris】  
モダンな外観と無垢材の床、広いベランダと快適な生活をお約束いたします。



婚活イベント 【アオハシ。】

日 時 平成 29 年 8 月 19 日(土)  
OPEN 19:00  
START 19:30  
会 場 行橋市中央 3-1-4  
BAR GranZ(グランジ)  
キ ャ ッ プ 3,000 円(ワンドリンク・おつまみ付)  
参加者年齢 30歳前後~40代  
問い合わせ先 下のQRコードより  
お問い合わせください。



※定員になり次第締め切らせて頂きます。



編集後記

「Saka-yell」は皆さまお分かりの通り造語です。「栄える」と「エールを送る」という二つの意味が込められています。「せわしない世の中だからこそ、ゆっくりした時間を」日頃、誰もが思っていることだと思います。そうはいってもなかなか難しいのも現実。「あなたの暮らしが栄えて、毎日が好きになれますよう」その言葉を胸に「Saka-yell」は創刊されました。疲れたときの、少しの癒しになれますように。「Saka-yell」編集部は頑張りたいと思います。